2012年3月24日[土] 高知新聞 朝刊(社会面)

(第3種郵便物認可)

よさこい学ぶゼミ開講

武蔵野大来月から 関東の実行委に派遣

裏方2年 組織論たたき込む

【東京支社】〝よさこい学〟開講!! 各地のよさこい祭りの裏方に携わり、組織論を学ぼうというユニークなゼミが武蔵野大(西東京市)で4月から始まる。同大によると、学生の関心も高く、既に募集30人に80人が希望する一番人気のゼミになっているという。(大山哲也)

同大は新3年生を2年間、長期インターン派遣する産学連携ゼミを新設。派遣先の一つに、関東などのよさこい好きが集まるイベント「ドリーム夜さ来い」の実行委員会(扇谷ちさと委員長=高知市出身)を選んだ。

昨秋に10周年を迎えた同祭は、全国から約100チームが参加し、50万人が集まるお台場の一大イベントに成長。よさこい祭りの全国普及に伴い、実行委の関わる行事も11月の本祭、8月の高知、来年3月の米国公演など年間約30件へと拡大している。

学生は2年間、扇谷さんらと一緒に主催団体との折衝や協賛金集めの企業訪問、会場設営などに一から参加する予定で、「ゼミ生の多くがよさこいを卒論のテーマにするはず」と同大キャリア開発課。高知市出身で、組織開発論が専門の中村剛講師が担当する。

このほど行われた打ち合わせで、中村講師は「老若男女の集まる祭りは学生の育成に最適。本気やぞ、から始めたゼミ。勘違いしたやつは思い切りしかってやって」。

扇谷さんも「こっちも一から築いた地元との信頼は裏切れない。見た目の派手さとは違う裏方の苦労を共有したい。遊びじゃない。ビシビシいくきね」と乗り気だ。

体にたたき込む〝よさこい組織論〟。学生たちの最初の試練は、実行委が2時間仕切る5月5日の「銀座柳まつり」から。